

# 岸和田市民における芸術分野の取組みに関する アンケート調査 集計結果

## 1 アンケート調査の概要

### ① 調査目的

平成27(2015)年9月に策定した「文化 花 咲かそう推進プラン-岸和田市文化振興計画-」が終期を迎えるにあたり、岸和田市民の文化活動の現状や意識を把握し、次期計画の策定に活かしていくために実施しました。

### ② 実施方法

岸和田市に住民登録のある16歳以上の男女の中から無作為で1,580人を抽出し、調査票を配布、郵送にて回収。

令和4(2022)年8月1日～8月31日を調査期間とし、10月14日回収分をもって締め切り。

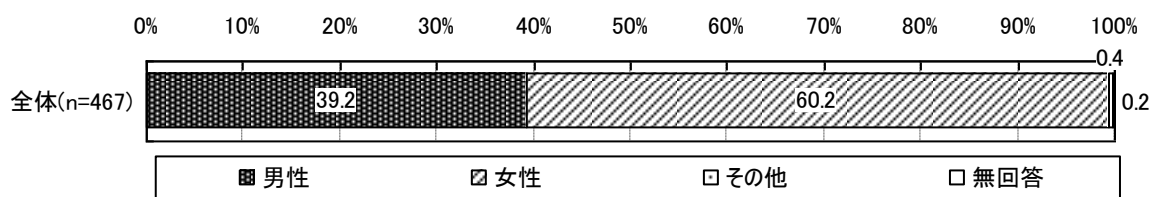
### ③ 回収状況

調査対象	配布数	回答数	回答率
16歳以上の岸和田市民	1,580	467	29.6%

## 2 集計結果

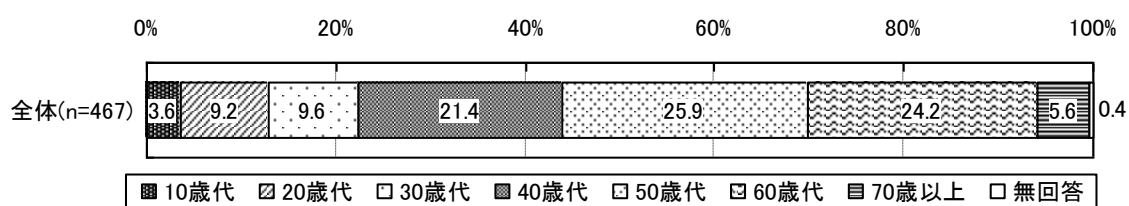
問1 あなたについてあてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

### 《性別》



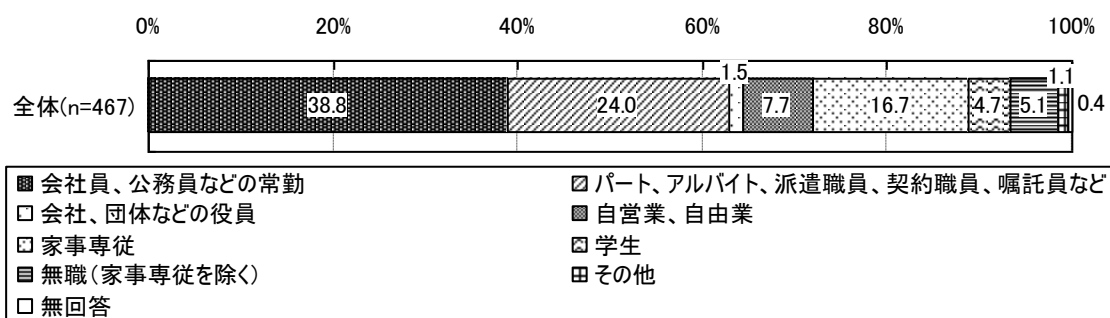
○回答者の性別は「女性」が60.2%、「男性」が39.2%、「その他」が0.4%となっています。

### 《年齢》



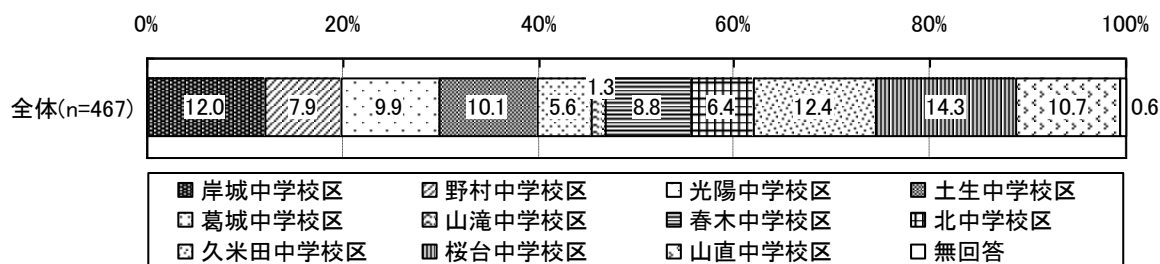
○回答者の年齢は「50歳代」が25.9%と最も多く、次いで「60歳代」が24.2%、「40歳代」が21.4%となっています。

### 《職業》



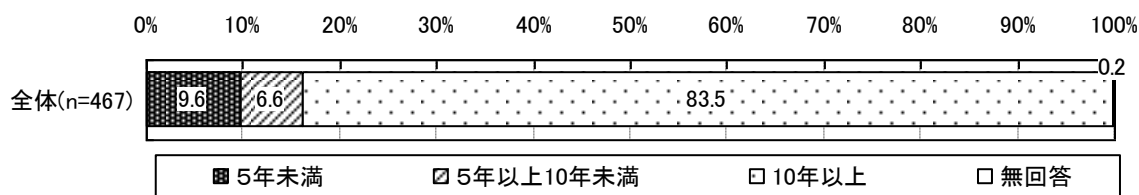
○回答者の職業は「会社員、公務員などの常勤」が38.8%と最も多く、次いで「パート、アルバイト、派遣職員、契約職員、嘱託員など」が24.0%、「家事専従」が16.7%などとなっています。

《居住地（中学校区）》



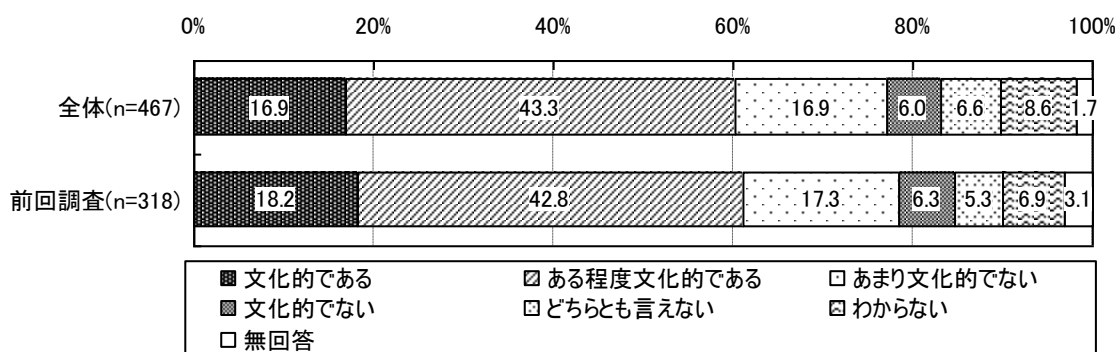
○回答者の居住地は若干のばらつきはありますが、概ね各校区 1 割前後となっています。

《居住年数》



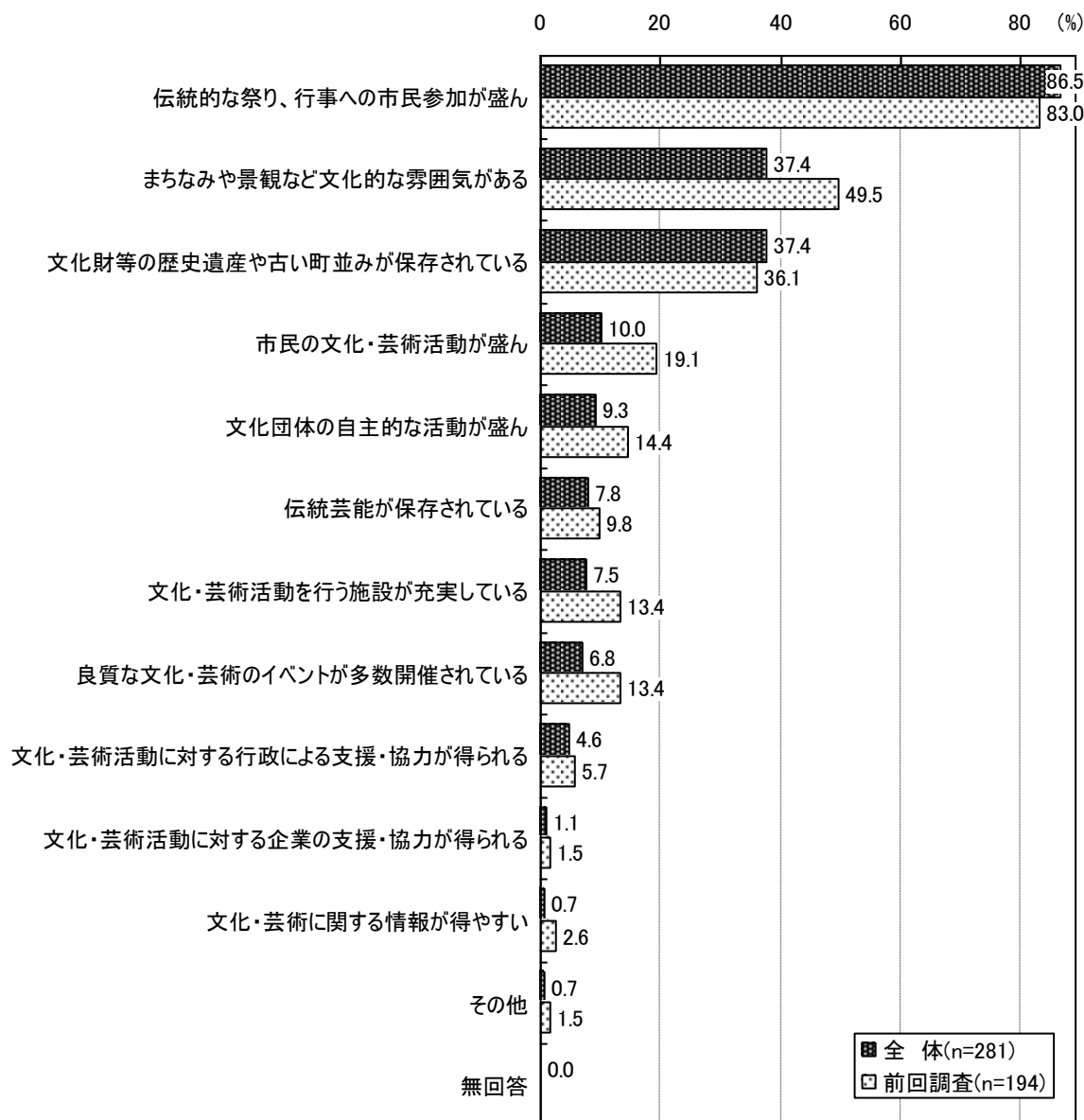
○回答者の居住年数は「10年以上」が83.5%を占めています。

問2 岸和田市は文化的なまちだと思いますか。(○はひとつだけ)



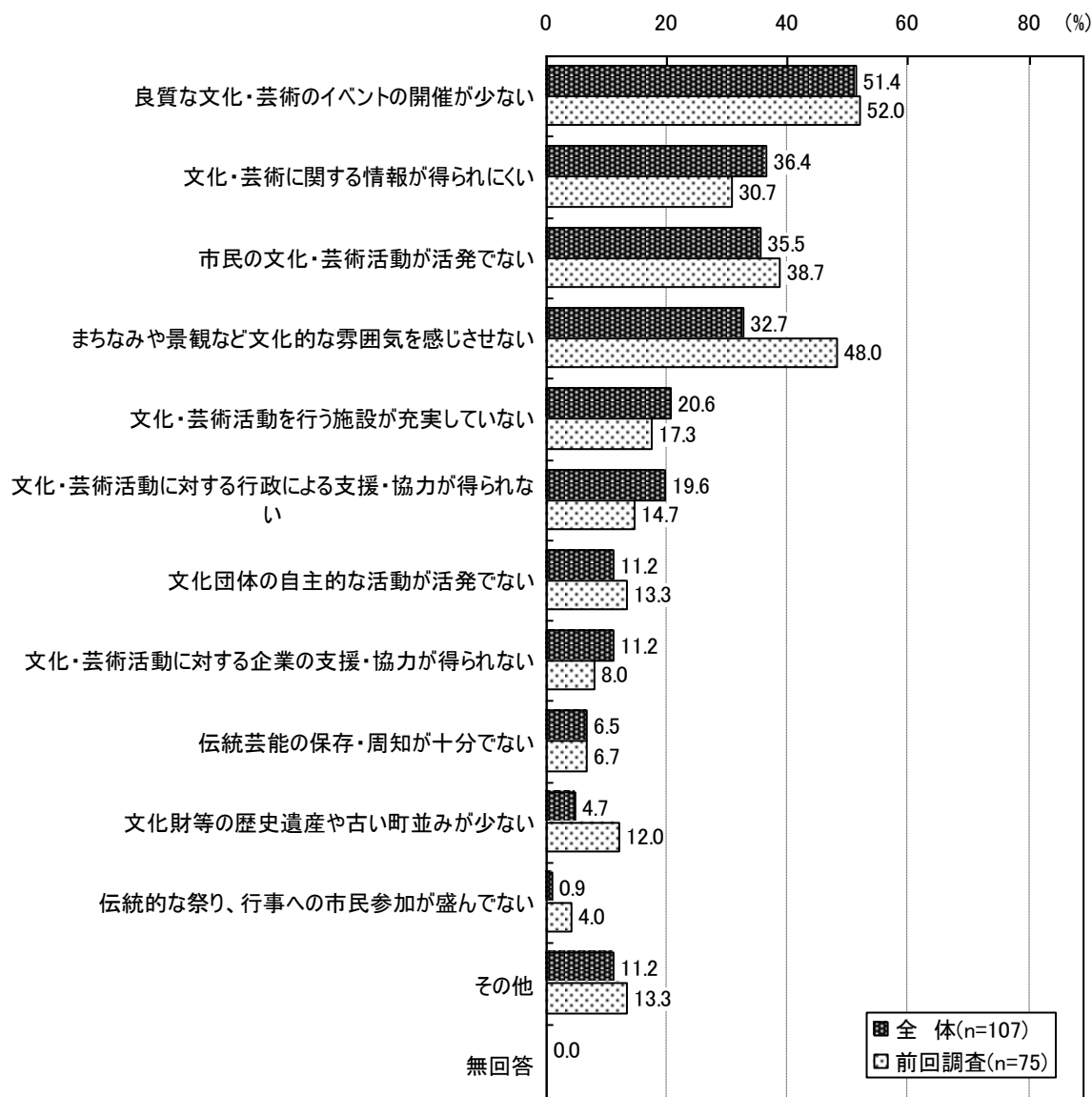
- 岸和田市について「文化的である」「ある程度文化的である」と答えた人を合計すると、60.2%の人が文化的なまちだと回答しています。
- 前回調査と比較すると、61.0%の人が文化的なまちだと回答していたものから0.8ポイント減少しています。
- ◎年齢別で見ると、10～30歳代で「ある程度文化的である」が55.2%と多くなっています。一方、60歳以上では「あまり文化的でない」が27.3%と多くなる結果となっています。

## 問 2-1 文化的であると思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)



- 文化的であると思う理由について、「伝統的な祭り、行事への市民参加が盛ん」という人が86.5%と最も多く、次いで「まちなみや景観など文化的な雰囲気がある」「文化財等の歴史遺産や古い町並みが保存されている」が37.4%などと続いています。
- 前回調査と比較すると、「伝統的な祭り、行事への市民参加が盛ん」と「文化財等の歴史遺産や古い町並みが保存されている」以外の項目において大きく減少する結果となっています。
- 年齢別でみると、60歳以上で「文化団体の自主的な活動が盛ん」が20.8%と多くなっています。

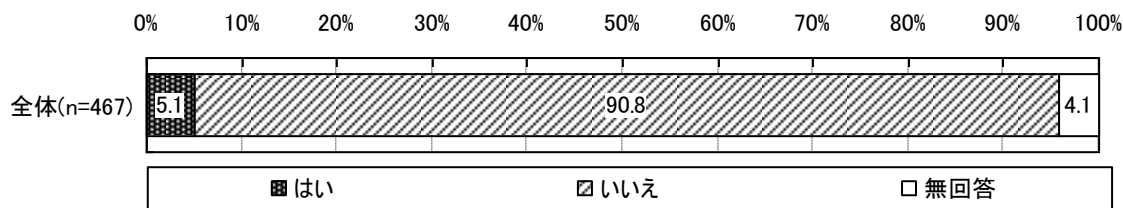
## 問 2-2 文化的ではないと思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)



○文化的ではないと思う理由について、「良質な文化・芸術のイベントの開催が少ない」という人が51.4%と最も多く、次いで「文化・芸術に関する情報が得られにくい」が36.4%などと続いています。

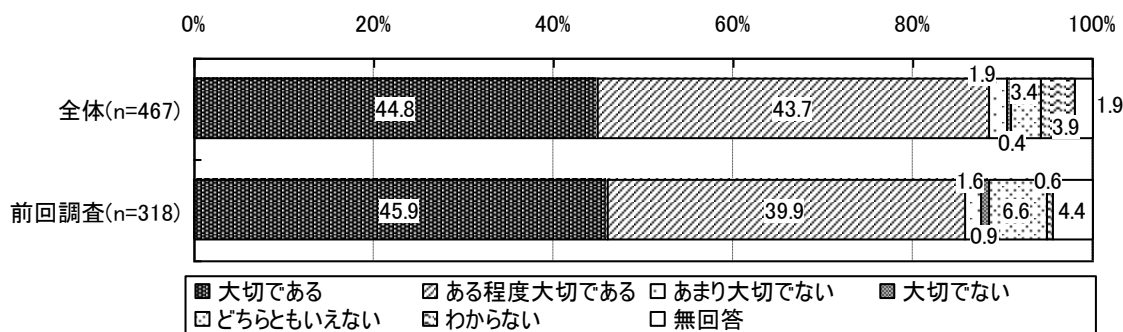
○前回調査と比較すると、「まちなみや景観など文化的な雰囲気を感じさせない」が大きく減少する一方で、「文化・芸術に関する情報が得られにくい」や「文化・芸術活動に対する行政による支援・協力が得られない」などの項目において増加する結果となっています。

問3 平成27(2015)年度に策定された「文化 花 咲かそう推進プラン-岸和田市文化振興計画-」をご存じですか。(〇はひとつだけ)



○「いいえ」と答えた人が90.8%を占めています。

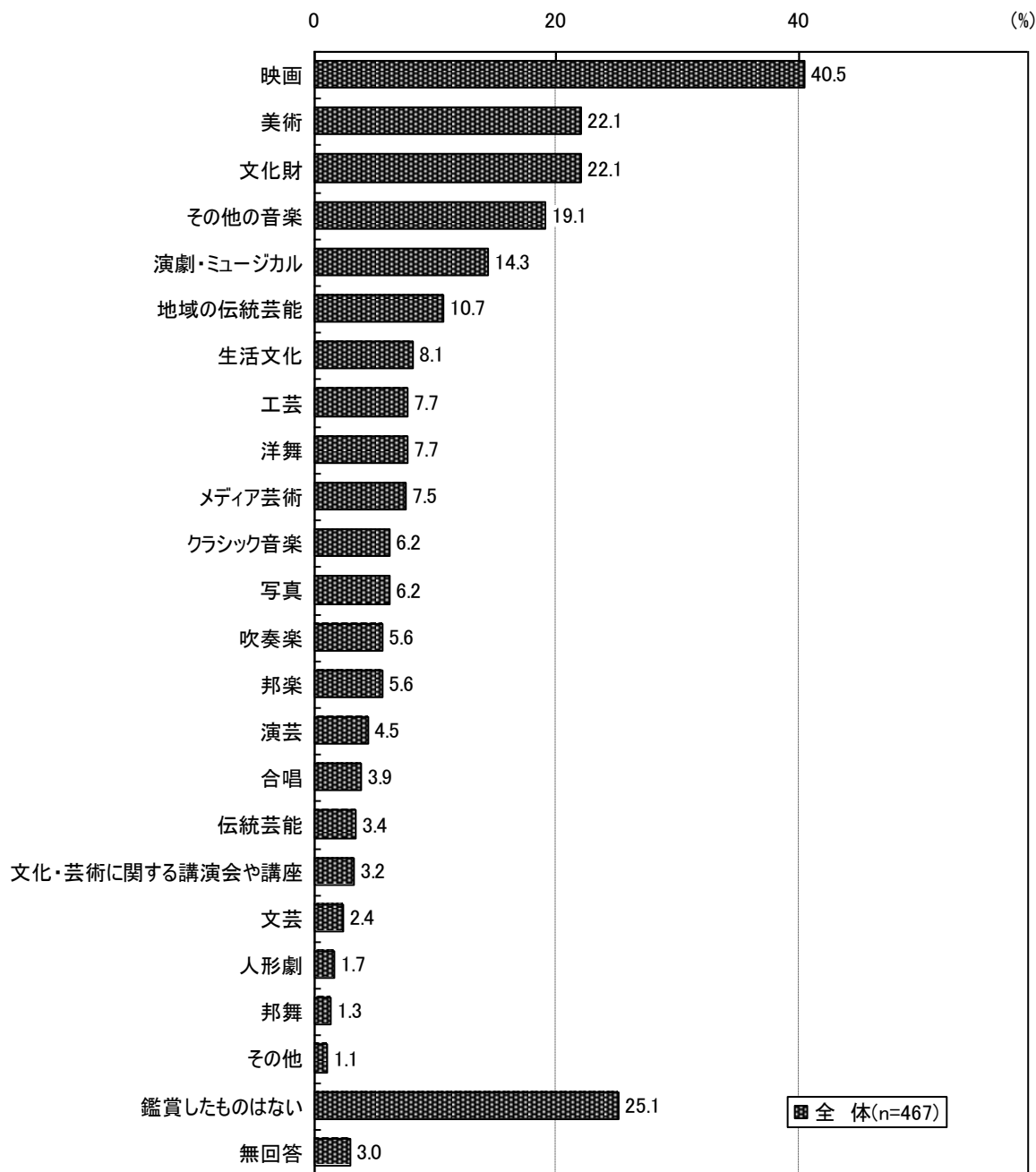
問4 日常生活の中で文化・芸術の鑑賞をしたり、ご自身で創造する活動を行うなど文化に触れることは、大切なことだと思いますか。(〇はひとつだけ)



○文化に触れることについて「大切である」「ある程度大切である」と答えた人を合計すると、88.5%の人が大切であると回答しています。

○前回調査と比較すると、合計で大切だと回答した人は85.8%であり、2.7ポイント増加しています。

問5 過去1年間に、公演や映画、美術作品などの文化・芸術を直接鑑賞されたものがありますか。(〇はいくつでも。ただし自宅での鑑賞は含みません。)

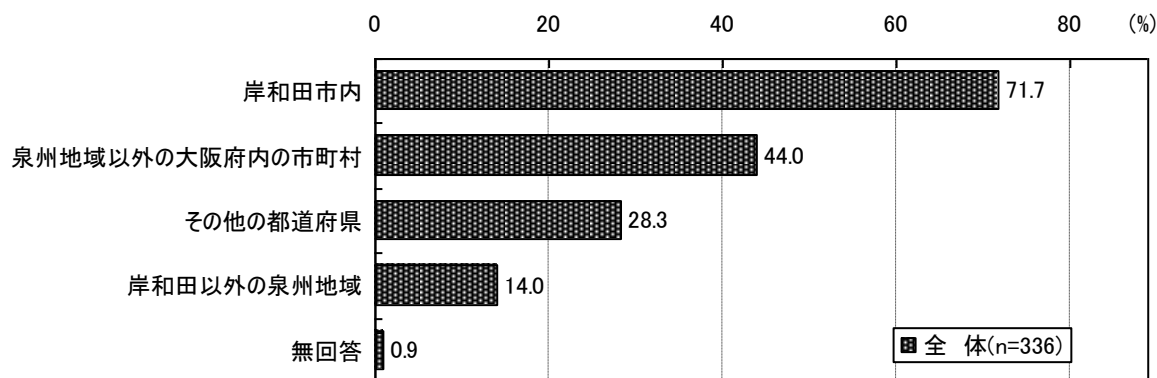


○過去1年間に直接鑑賞したものについて、「映画」が40.5%と最も多く、次いで「美術」「文化財」が22.1%、「その他音楽」19.1%などと続いています。

◎性別にみると、男性では「演劇・ミュージカル」が3.8%と少なくなっています。

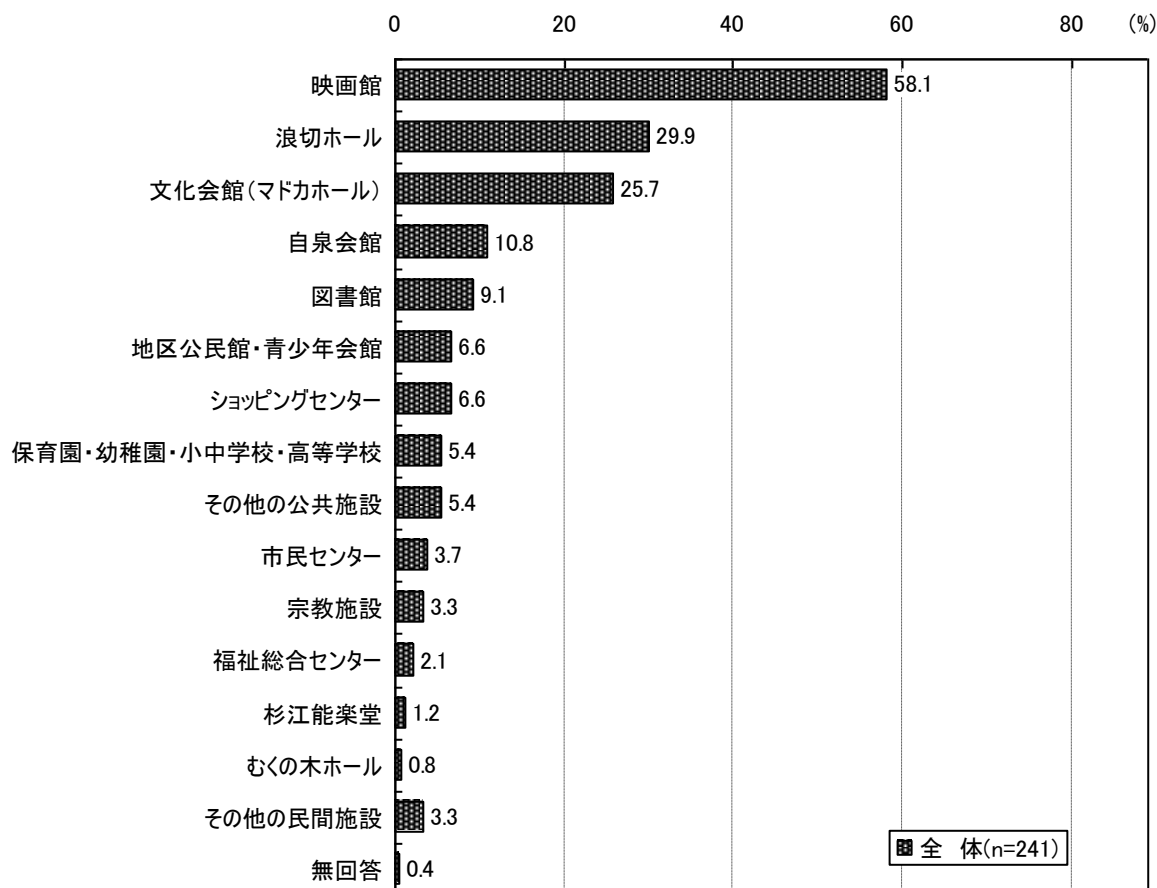
◎年齢別にみると、10～30歳代では「映画」が60.0%と多くなる一方、60歳以上では28.1%と少なくなっています。

## 問 6 過去 1 年間、文化・芸術の鑑賞を主にどこで行いましたか。(〇はいくつでも)



○「岸和田市内」と答えた人が71.7%と最も多く、次いで「泉州地域以外の大阪府内の市町村」が44.0%となっています。

## 問 6-1 過去 1 年間、岸和田市内の施設で文化・芸術を鑑賞されたことのある施設はどこですか。(〇はいくつでも)

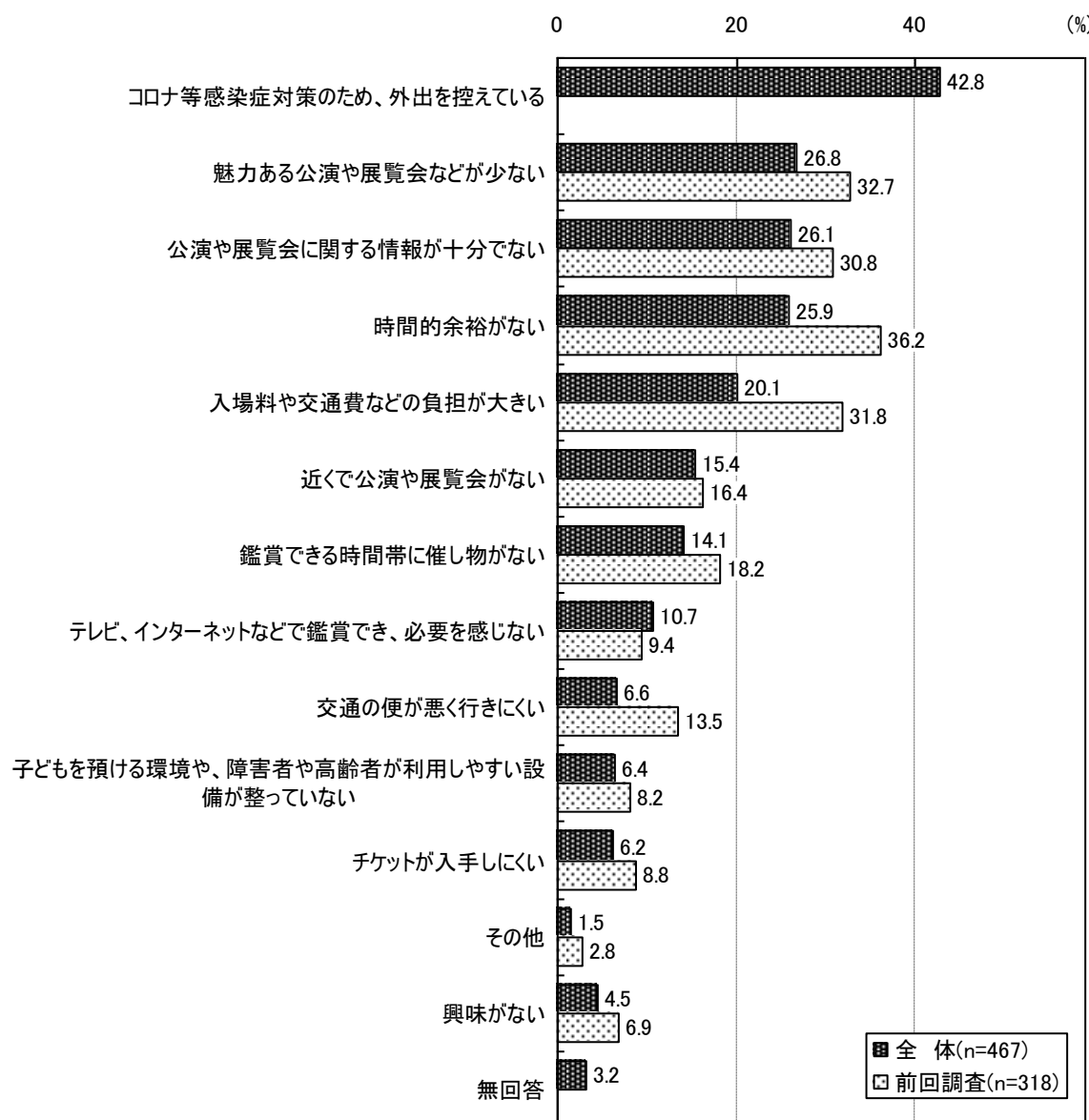


○文化・芸術を鑑賞した施設について、「映画館」が58.1%と最も多く、次いで「浪切ホール」が29.9%、「文化会館（マドカホール）」が25.7%などと続いています。

◎年齢別にみると、10～30歳代では「映画館」が75.9%と多くなっています。60歳以上では「浪切ホール」が42.3%と多くなっています。



## 問 7 文化・芸術の鑑賞において、鑑賞の支障となるものは何だと思えますか。(〇は3つまで)

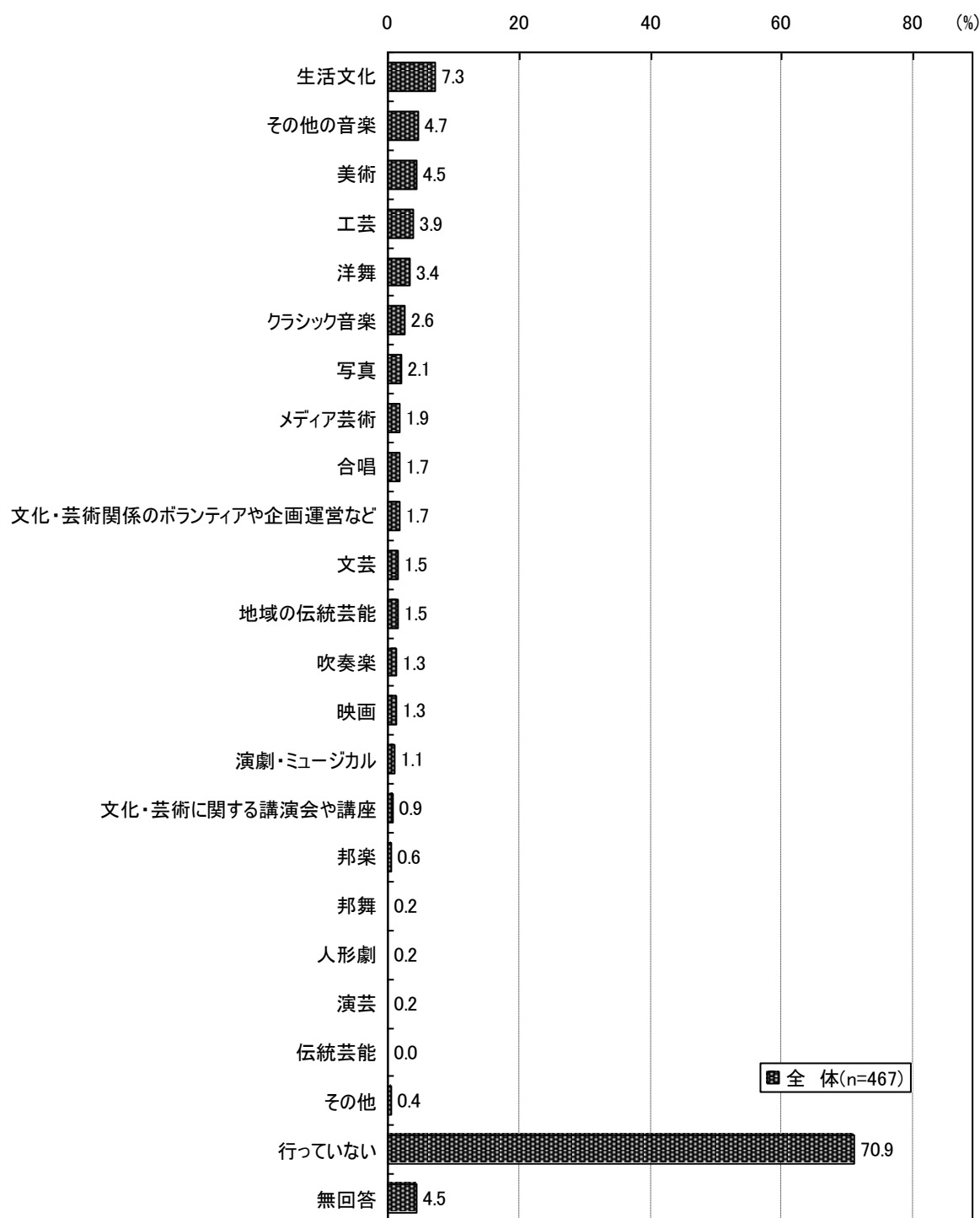


○鑑賞の支障となるものについて、「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が42.8%と最も多く、次いで「魅力ある公演や展覧会などが少ない」が26.8%、「公演や展覧会に関する情報が十分でない」26.1%、「時間的余裕がない」が25.9%などと続いています。

○前回調査と比較すると、今回追加された項目「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」を除くと、「テレビ、インターネットなどで鑑賞でき、必要を感じない」が増加しており、それ以外の項目では大きく減少する結果となっています。

◎年齢別にみると、10～30歳代では「時間的余裕がない」が32.4%と多くなっています。60歳以上では「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が50.4%と多くなっています。

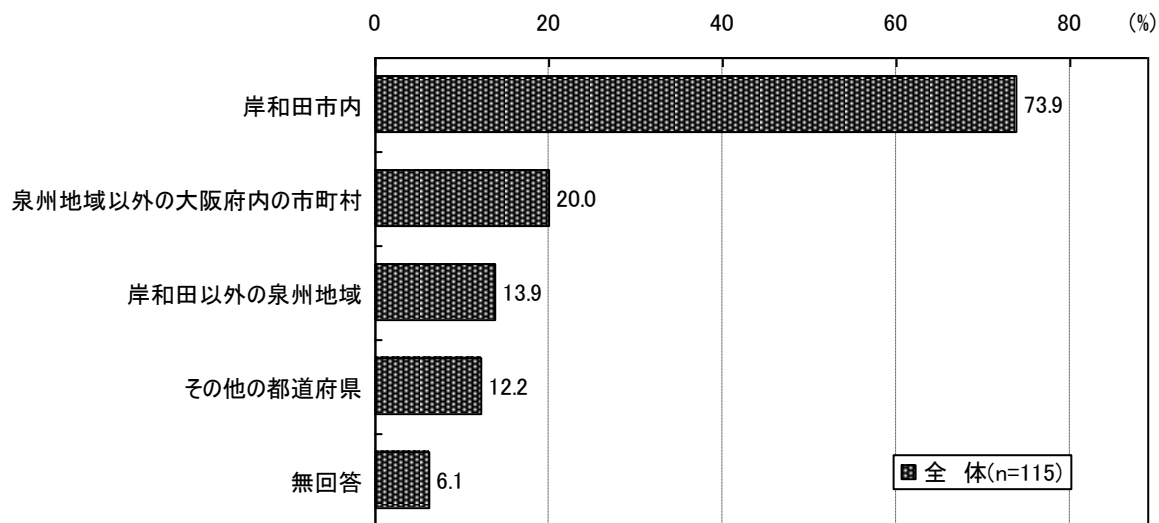
問 8 過去 1 年間に、演奏や演じる、創作するという文化・芸術の創造活動を行ったものがありますか。(〇はいくつでも)



○過去 1 年間に行った創造活動について、「行っていない」の 70.9%を除くと、「生活文化」が 7.3%、「その他音楽」が 4.7%、「美術」が 4.5%などとなっています。

◎性別にみると、男性では「行っていない」が 81.4%と多くなっています。

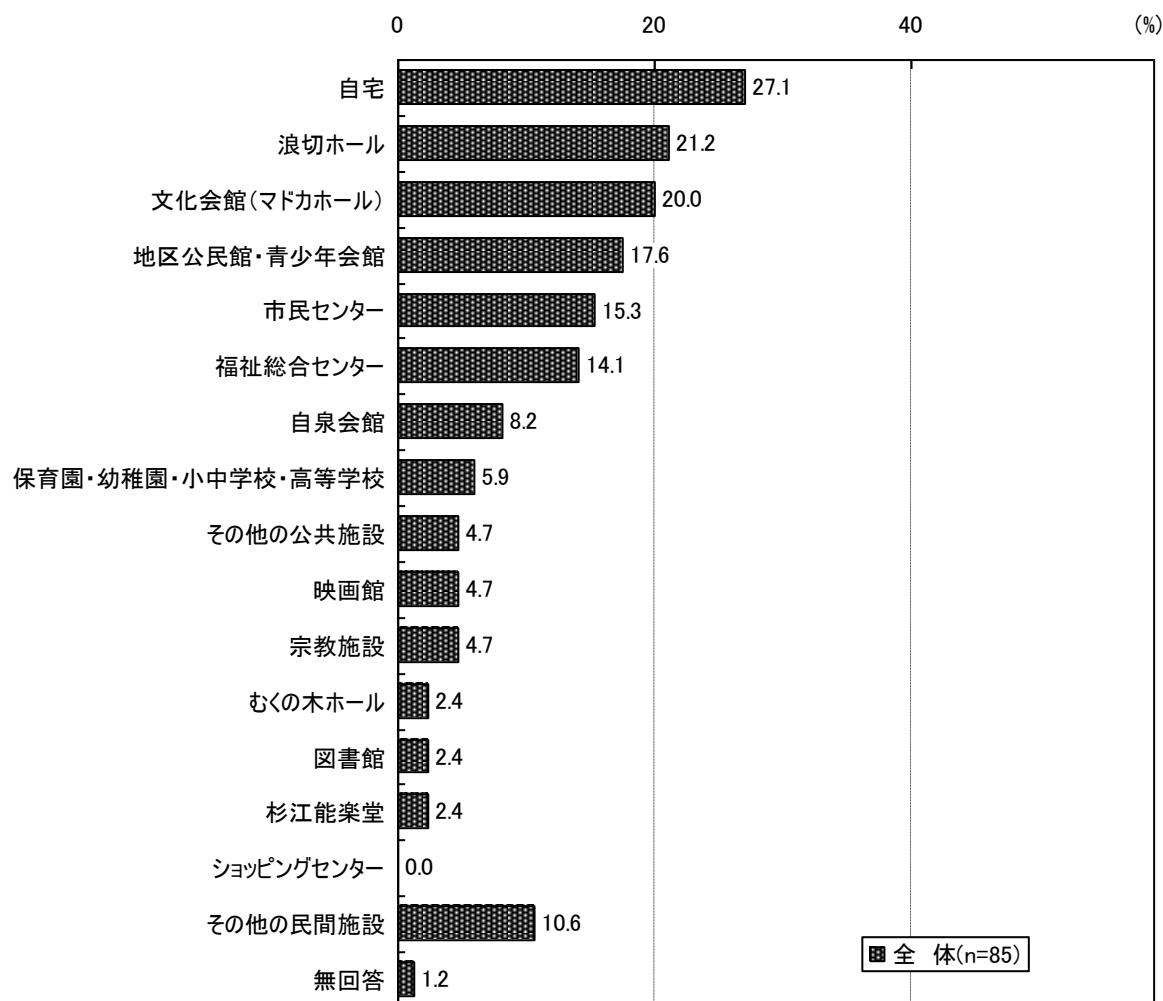
問 9 過去 1 年間、文化・芸術の創造活動（発表を除く。）を主にどこで行いましたか。（〇はいくつでも）



○「岸和田市内」と答えた人が73.9%と最も多く、次いで「泉州地域以外の大阪府内の市町村」が20.0%となっています。

◎年齢別にみると、60歳以上では「岸和田市内」が84.4%と多くなっています。

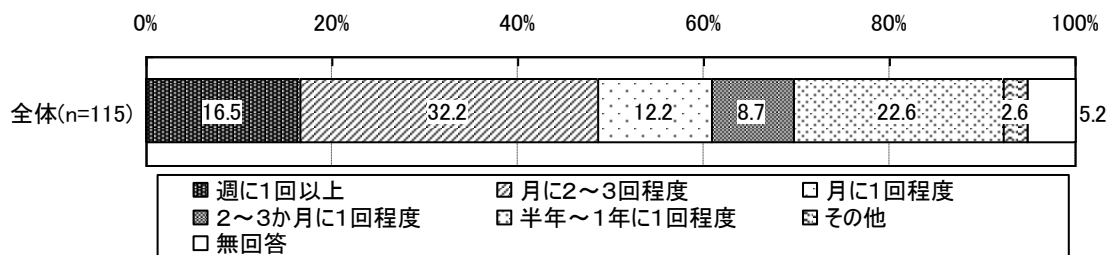
問9-1 岸和田市内で文化・芸術の創造活動（発表を除く。）を行っている施設はどこですか。  
（〇はいくつでも）



○創造活動を行っている施設について、「自宅」が27.1%と最も多く、次いで「浪切ホール」が21.1%、「文化会館（マドカホール）」が20.0%などとなっています。

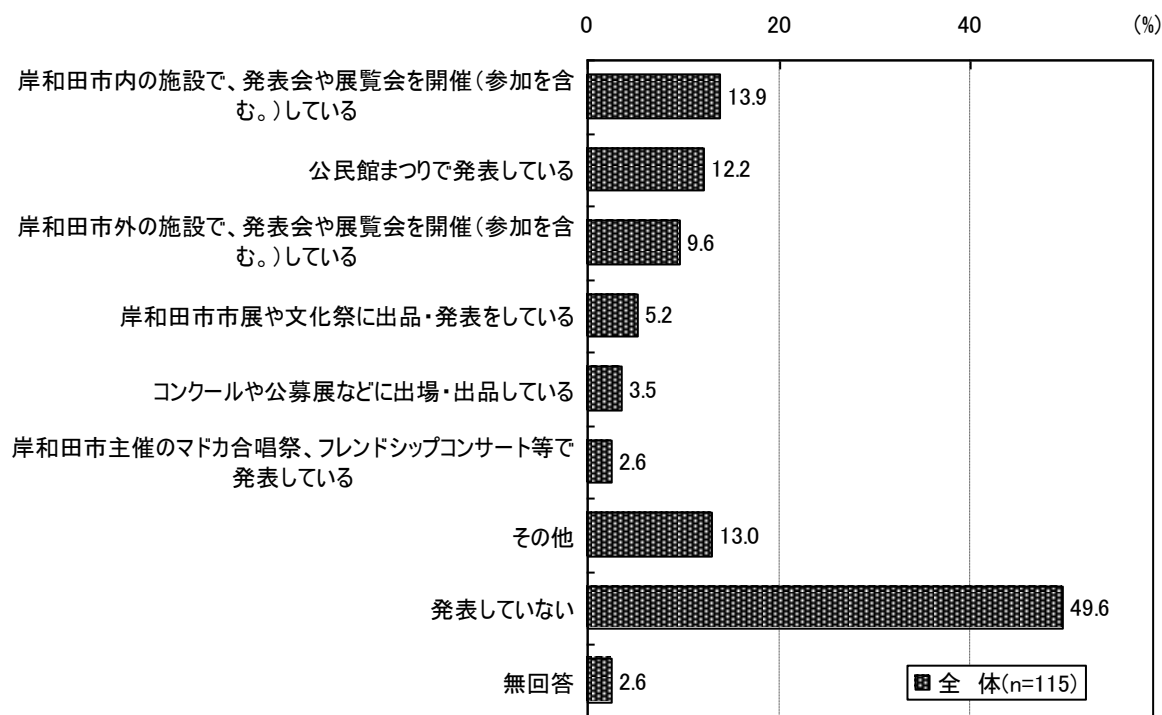
◎年齢別にみると、10～30歳代では「自宅」が73.3%と多くなっています。60歳以上では「福祉総合センター」「地区公民館・青少年会館」が31.6%、「市民センター」が28.9%と多くなっています。

問10 どの程度の頻度で、文化・芸術の創造活動（発表を除く。）を行っていますか。（〇はひとつだけ）



○創造活動の頻度について、「月に2～3回程度」が32.2%と最も多く、次いで「半年～1年に1回程度」が22.6%となっています。

問11 ご自身の文化・芸術の創造活動の発表をどのように行っていますか。（〇はいくつでも）

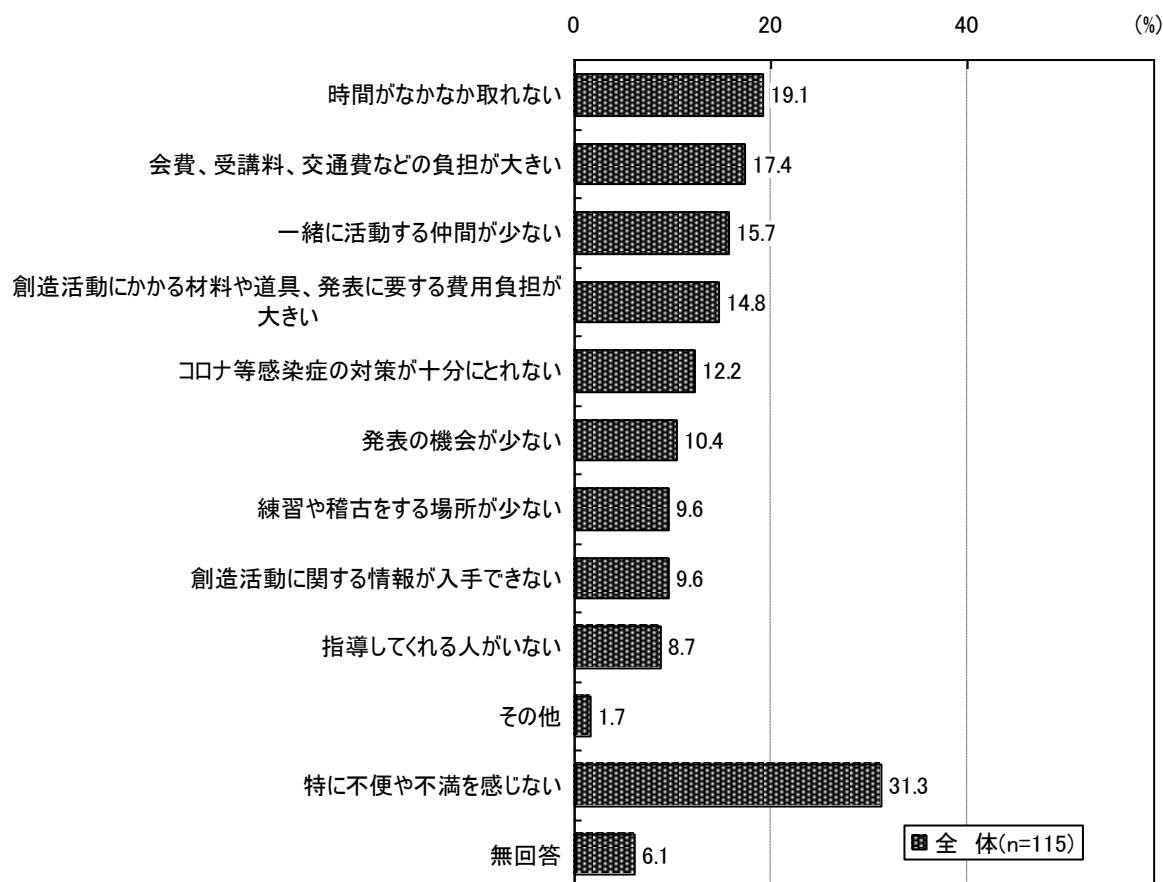


○創造活動の発表について、「発表していない」「その他」を除くと、「岸和田市内の施設で、発表会や展覧会を開催（参加を含む。）している」が13.9%と最も多く、次いで「公民館まつりで発表している」が12.2%などとなっています。

◎性別に見ると、男性では「発表していない」が65.4%と多くなっています。

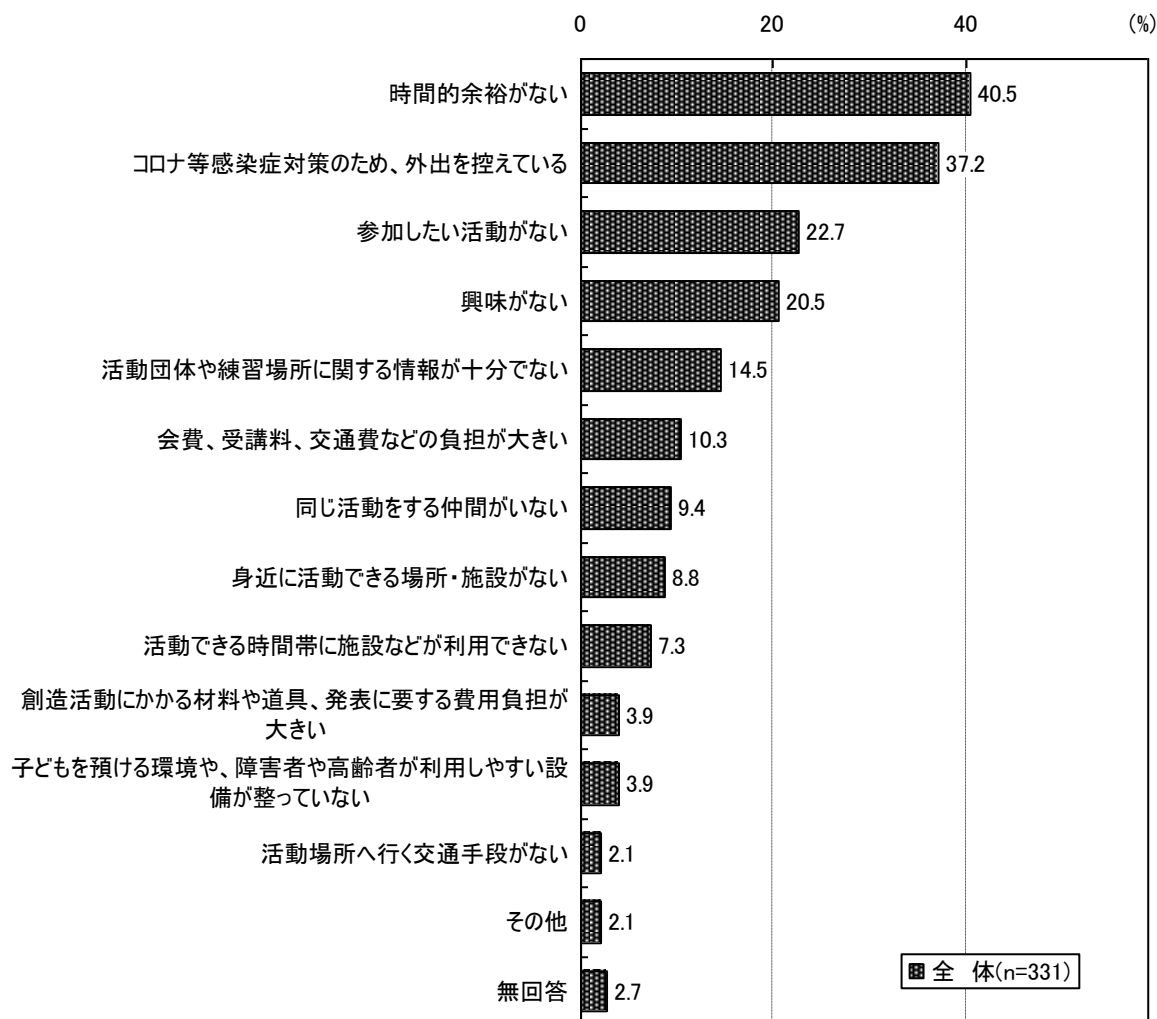
◎年齢別にみると、10～30歳代では「その他」が23.1%、40・50歳代では「発表していない」が65.1%、60歳以上では「公民館まつりで発表している」が26.7%と多くなっています。

問12 文化・芸術の創造活動や発表を行う上で、不便や不満を感じることがありますか。(〇はいくつでも)



- 創造活動や発表を行う上で不便なことについて、「特に不便や不満を感じない」を除くと、「時間がなかなか取れない」が19.1%と最も多く、次いで「会費、受講料、交通費などの負担が大きい」が17.4%、「一緒に活動する仲間が少ない」が15.7%などとなっています。
- ◎性別にみると、男性では「一緒に活動する仲間が少ない」が34.6%と多くなっています。
- ◎年齢別にみると、10～30歳代では「特に不便や不満を感じない」が46.2%、「時間がなかなか取れない」が30.8%と多くなっています。

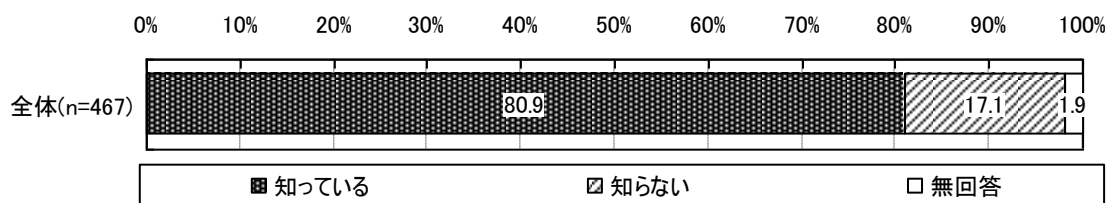
## 問13 文化・芸術の創造活動を行っていない理由は何ですか。(〇は3つまで)



○創造活動を行っていない理由について、「時間的余裕がない」が40.5%と最も多く、次いで「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が37.2%、「参加したい活動がない」が22.7%などとなっています。

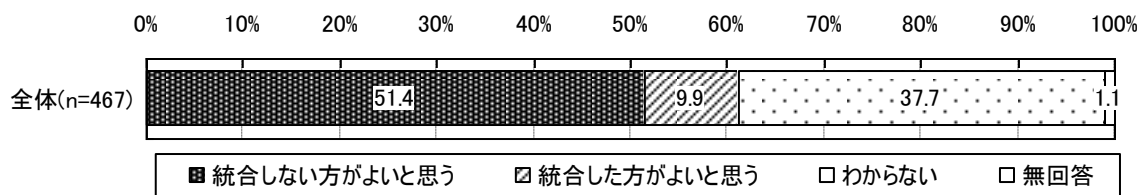
◎年齢別にみると、10～30歳代では「興味がない」が33.8%と多くなっています。60歳以上では「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が47.6%と多くなっています。

## 問14 岸和田市には公共の文化施設が3館（マドカホール・浪切ホール・自泉会館）あることをご存じですか。



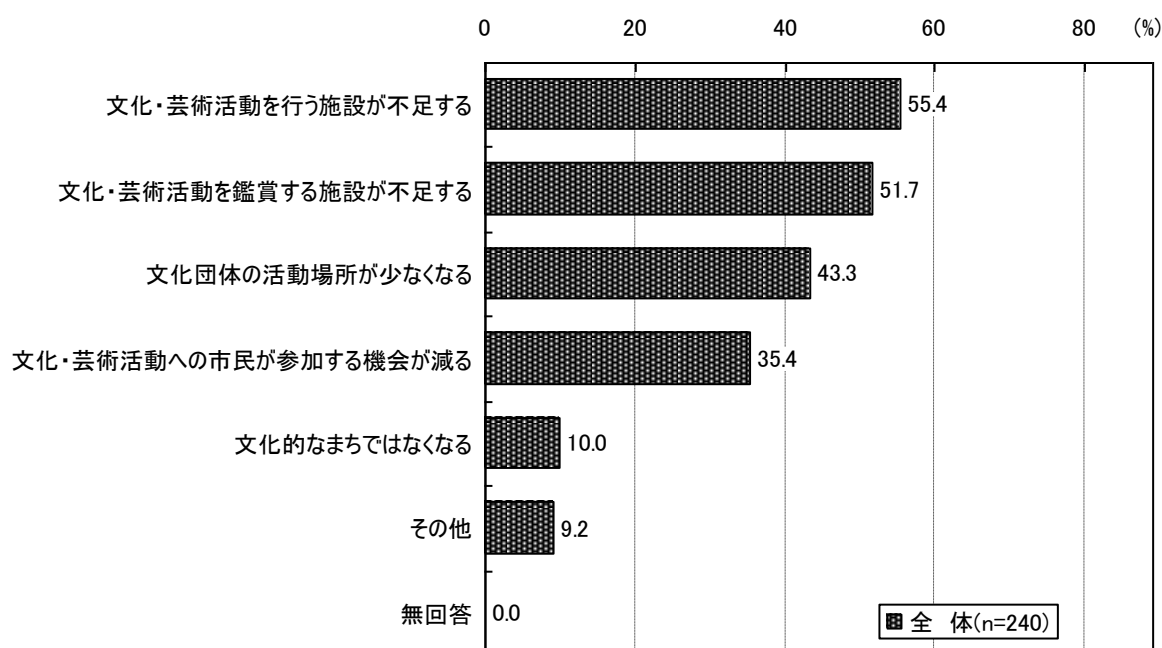
○「知っている」と答えた人が80.9%を占めています。

## 問15 この3館を統合した方がよいと思いますか。(〇はひとつだけ)



○文化施設3館について、「統合しない方がよいと思う」が51.4%と最も多く、次いで「わからない」が37.7%、「統合した方がよいと思う」が9.9%となっています。

## 問15-1 統合しない方がよいと思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)

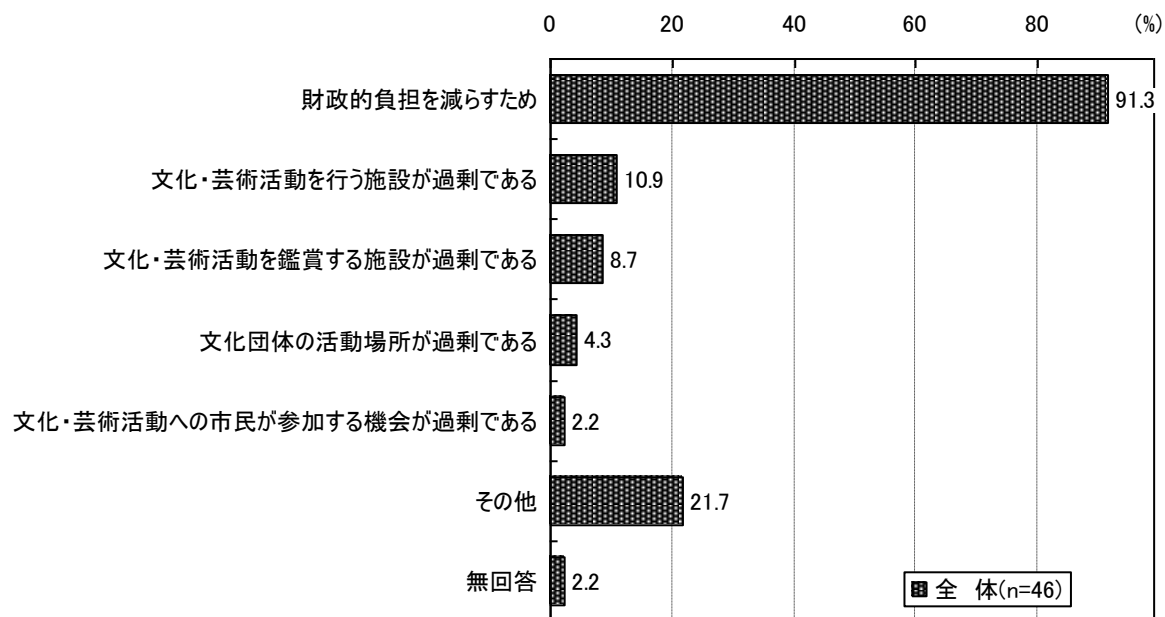


○統合しない方がよいと思う理由について、「文化・芸術活動を行う施設が不足する」が55.4%と最も多く、次いで「文化・芸術活動を鑑賞する施設が不足する」が51.7%、「文化団体の活動場所が少なくなる」が43.3%などとなっています。

◎年齢別にみると、10～30歳代では「文化団体の活動場所が少なくなる」が59.2%と多くなっています。

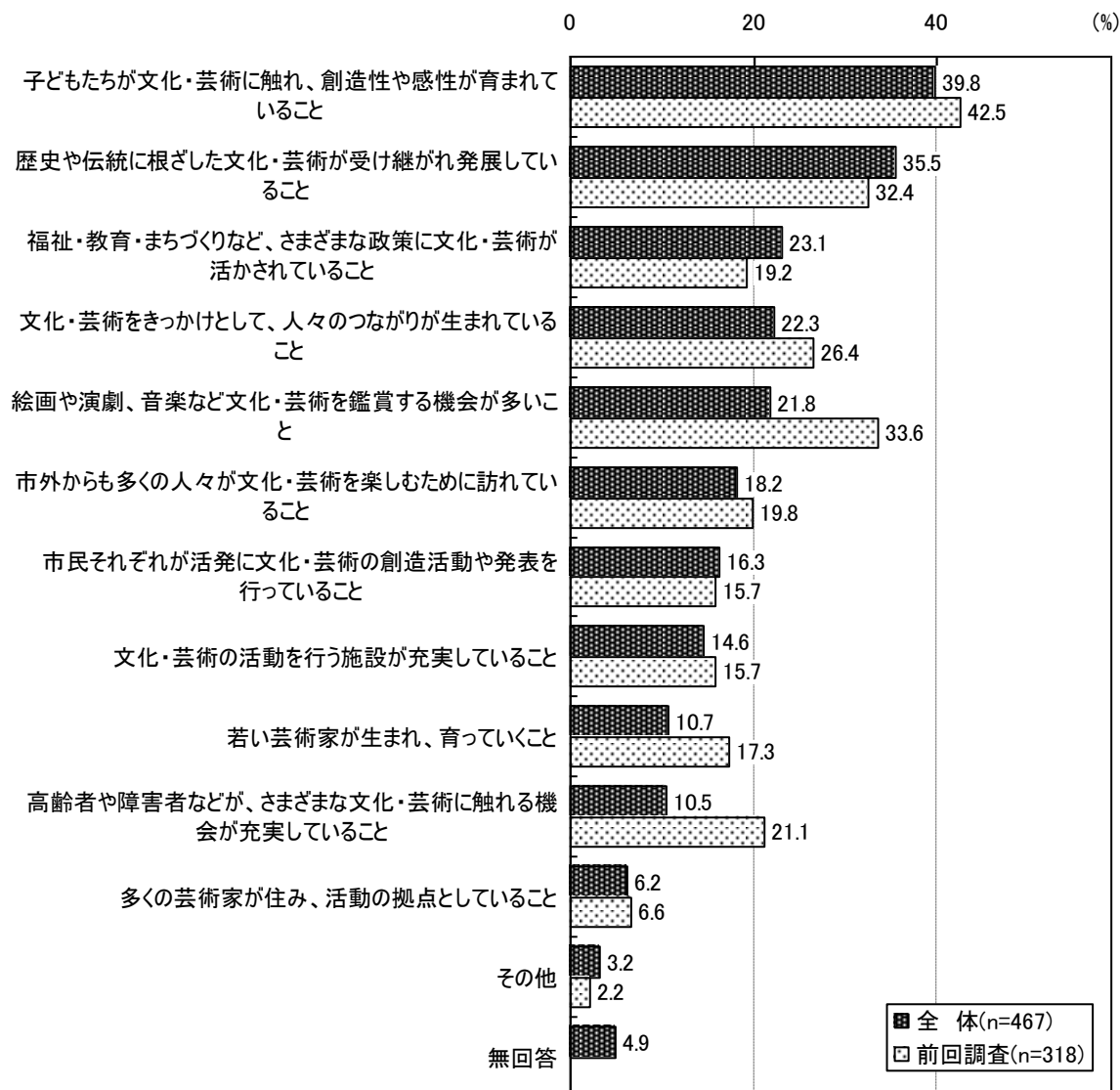


## 問15-2 統合した方がよいと思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)



○統合した方がよいと思う理由について、「財政的負担を減らすため」が91.3%と最も多くなっています。

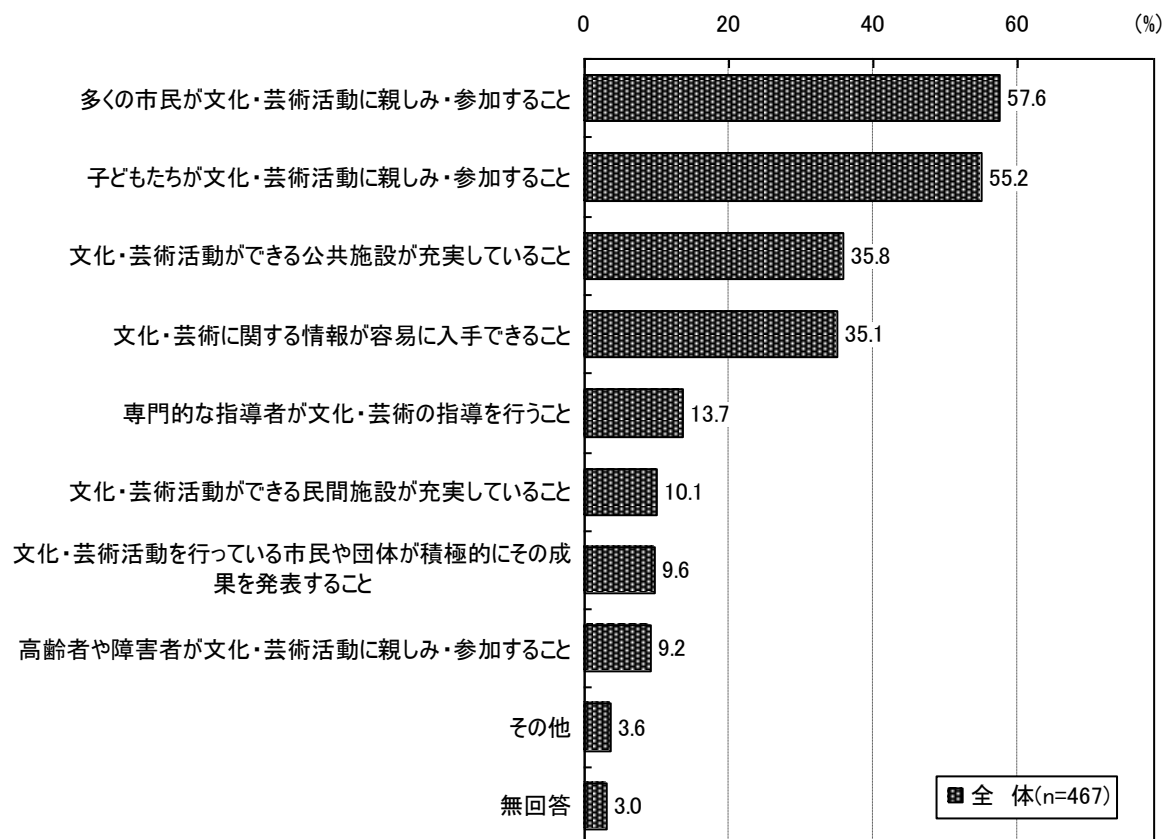
問16 「誰もが心豊かに暮らせる文化のまち岸和田」と聞いてどのようなイメージを感じますか。(〇は3つまで)



○イメージするものについて、「子どもたちが文化・芸術に触れ、創造性や感性が育まれていること」が39.8%と最も多く、次いで「歴史や伝統に根ざした文化・芸術が受け継がれ発展していること」が35.5%、「福祉・教育・まちづくりなど、さまざまな政策に文化・芸術が活かされていること」が23.1%、「文化・芸術をきっかけとして、人々のつながりが生まれていること」が22.3%などと続いています。

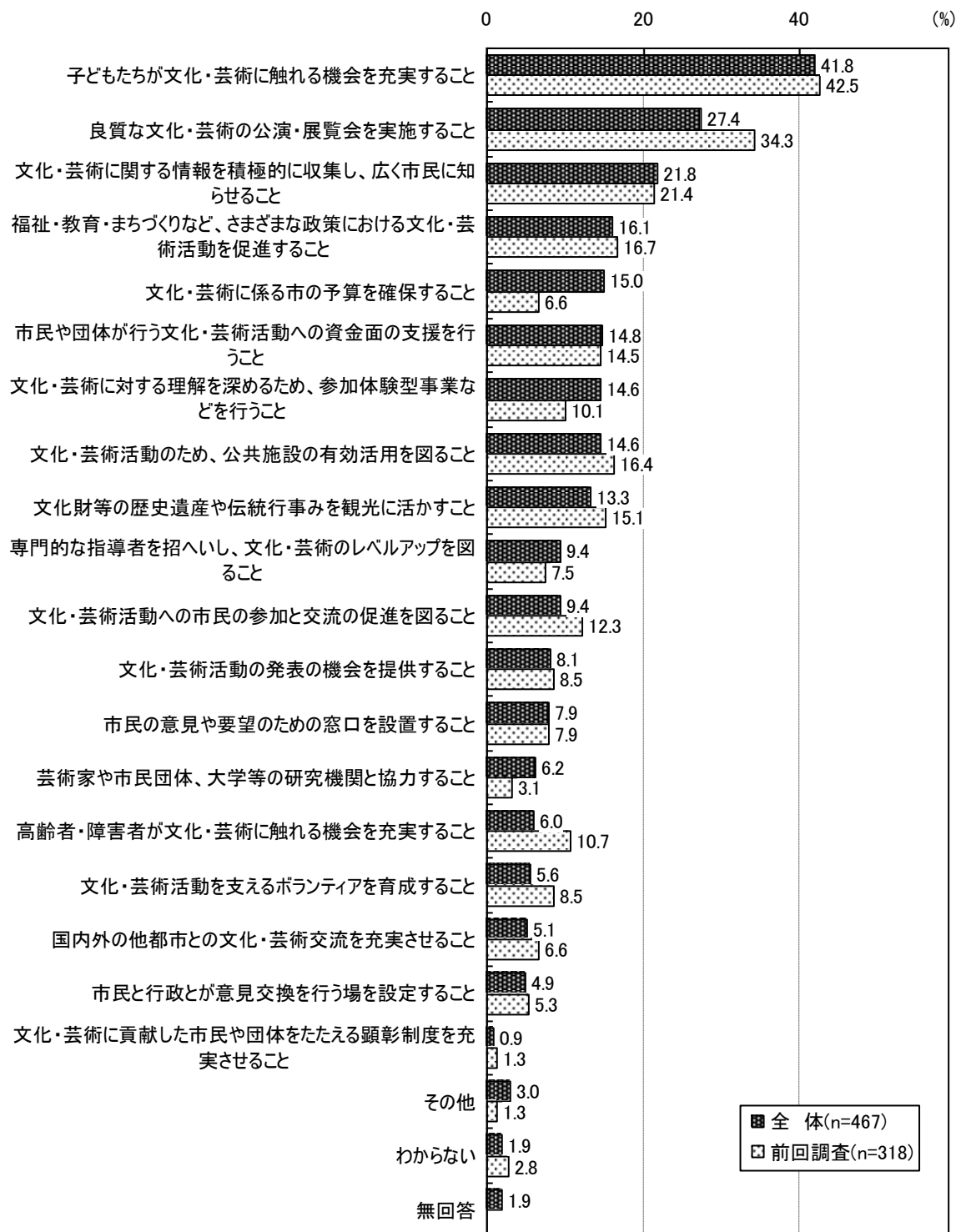
○前回調査と比較すると、「絵画や演劇、音楽など文化・芸術を鑑賞する機会が多いこと」や「高齢者や障害者などが、さまざまな文化・芸術に触れる機会が充実していること」などで大きく減少しており、「歴史や伝統に根ざした文化・芸術が受け継がれ発展していること」や「福祉・教育・まちづくりなど、さまざまな政策に文化・芸術が活かされていること」などで増加する結果となっています。

## 問17 文化・芸術の振興のために、何が重要なことだと思いますか。(〇は3つまで)



○文化・芸術の振興のために重要なことについて、「多くの市民が文化・芸術活動に親しみ・参加すること」が57.6%と最も多く、次いで「子どもたちが文化・芸術活動に親しみ・参加すること」が55.2%、「文化・芸術活動ができる公共施設が充実していること」が35.8%、「文化・芸術に関する情報が容易に入手できること」が35.1%などと続いています。

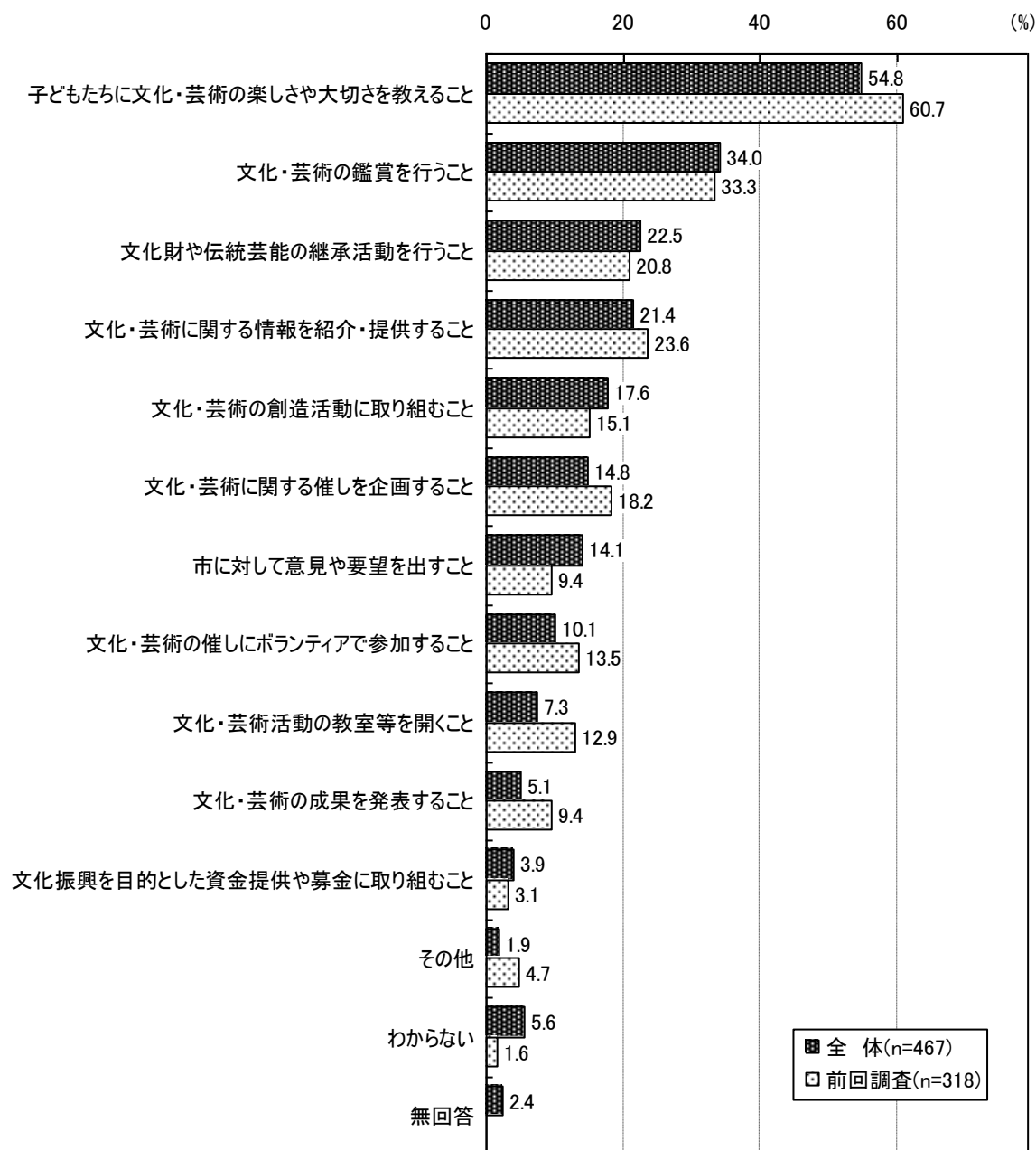
問18 文化・芸術の振興のために、行政（岸和田市）は、どのようなことをすべきだと思いますか。（〇は3つまで）



○文化・芸術の振興のために行政がすべきことについて、「子どもたちが文化・芸術に触れる機会を充実すること」が41.8%と最も多く、次いで「良質な文化・芸術の公演・展覧会を実施すること」が27.4%などと続いています。

○前回調査と比較すると、「文化・芸術に係る市の予算を確保すること」が増加し、「高齢者・障害者が文化・芸術に触れる機会を充実すること」が減少する結果となっています。

問19 文化・芸術の振興のために、市民は、どのようなことをすべきだと思いますか。(〇は3つまで)



○文化・芸術の振興のために市民がすべきことについて、「子どもたちに文化・芸術の楽しさや大切さを教えること」が54.8%と最も多く、次いで「文化・芸術の鑑賞を行うこと」が34.0%などと続いています。